

事業報告書

日時	YouTube 録画動画配信 配信期間：令和5年2月6日（月）～3月6日（月）
目的	県内に在住する自身のスキルアップを望む女性を対象として、様々なライフステージの中で自分の持てる能力を最大限発揮するため、ダイバーシティーマインド、マネジメント力、論理的思考力等を伸ばし、職場、家庭、地域のあらゆる場所で活躍できる人材の育成をめざす。離島地域は受講の機会などが限られるため、録画動画配信を行うこととする。（第6次沖縄県男女共同参画計画 DEIGO プラン 2-1-16）
対象	沖縄県内在住の女性でスキルアップに関心のある方
講師	第一部（60分）ジェンダー&ダイバーシティ講座 新垣 誠 氏（沖縄キリスト教学院大学人文学部長） 第二部（90分）ロジカル&コミュニケーションスキルアップ講座 高田 朝子 氏（法政大学経営大学院イノベーション・マネジメント研究科 教授）
会場	YouTube
定員	定員なし
参加者	申込者 64 名、動画視聴回数 140 回 ※沖縄県内全域で参加者（動画視聴者）を募集した。
	【YouTube 動画配信】 新垣 誠 氏 「ジェンダー&ダイバーシティ講座」（動画 60 分） 講師はジェンダーの意味について日本社会・沖縄社会でまだまだ共有できていない部分もあるが理論的に説明するのではなく、生活の中でのジェンダーというものを考えられるような話をしたいと講座を始めた。 最初に、ジェンダー平等（Gender Equality）はSDGs、17のゴール目標にも入っており、世界規模の課題である。日本の現状は、ジェンダーギャップ指数で見ると146カ国中116位という結果で、主要7カ国（G7）のうち最下位であると説明した。 次に、「ジェンダー」とは何か、人は生まれた瞬間から医学的に「男女」と分類され、社会から「男・女らしさ」が与えられるが、この社会が作り出す男・女らしさを「ジェンダー」という。性別にまつわる私たちの意識をジェンダー意識といい、男女の特性にまつわる常識のようなものであると解説。また「男は仕事、女は家庭」などの「こうするべき」というものをジェンダー規範という。ジェンダー規範は社会の中で無意識化・身体化され、習慣化されており、これをアンコンシャス・バイアス（無意識の偏見）であると説明した。 ジェンダー規範は、日本の伝統や文化的価値観ではなく、近代国家日本の成立から発生し、明治以降に教育の中で形成・強化された「女は学なきをよしとす」という価値観であり女性教育の基本理念は職業人としての男を支える良妻賢母主義の育成であったと説明した。 また、女性だけではなく男性もジェンダー規範による縛りを抱え影響を受けていると指摘。「男は仕事ができなば」という規範の中で、社会状況の変化から仕事でつまずいた中高年男性の自殺が多発した時代もあったことを紹介した。

今の時代、ジェンダー規範は男も女も苦しめる。それぞれがジェンダー規範の苦しみから自分も他人も解放し、自由になること、自分らしさや個性は多様性やダイバーシティにもつながることから、個人がそれぞれに力を最大限に発揮できる社会をつくるのが大切と述べた。

高田 朝子 氏 「ロジカル&コミュニケーションスキルアップ講座」(動画 90分)

講師は「新型コロナウイルスにより社会が劇的に変化しわたしたちは過渡期におり、今までのやり方を守っているだけでは前に進めない。みなさんが職場で、またはコミュニティでより良く幸せになれるような話ができればと思います。」と話し講座を始めた。

職場や家庭やコミュニティで自身の話の内容を理解してもらうには工夫が必要である。それは「内容の部分」と、それをどうやって届けるのかという「デリバリーの部分」があり「デリバリーの部分」のいくつかを改善すると劇的に変わると述べ、4つのコツを紹介した。

【デリバリー編】

コツ1 何が結論かを意識する。その後ろにあるのは、何を伝えたいか、自分はどうしたいのかを考えること。**コツ2** 主語と述語を使って話し、「～の件なんですが～」と#ハッシュタグをつけて話し、さらに相手が理解しやすいタグをつけるとより理解してもらえらる。

コツ3 相手にわかりやすいように話すには必ず結論が必要。結論→結論に近いこと→理由と話しをすることを意識する。**コツ4** コミュニケーションをよくするために、自身もツールの一つであることを意識し自分のことをよく知ることが非常に重要。

【内容編】

自分を知ることが重要になり、自分の発話の癖や思考(マインドセット)の癖を知り、相手にわかりやすいように情報をデリバリーする。その後ろにある自身が伝えたいことをわかっていることが大事である。

講話の合間に思考の癖を知るためのワークを3つ行った。

「こうあるべきだ」というマインドセットに女性たちは苦しんでいる。性別での能力差はない、自信のない女性が多いのは自信を持てる場を与えられなかったからである。成功体験はフィードバックにて成立していくが、このサイクルを回すのは言葉などのコミュニケーションである。職場などでも意識しながら、自身でも小さな成功体験を積み上げ、自分を褒め、自信を持つことが大事である。そして誠意や気持ちが伝わるよう、言語化して伝えるスキルを身に付けることが大切と説明した。

最後に、コミュニケーションは「返報性」で成り立っている。お返しで世の中は成り立っているので、自分の誠意や気持ちを伝えるために相手にわかるように言語化し、相手の分かる順番に話すことが大切である。阿吽の呼吸はもはや前提条件ではないので人を動かすロジカルな話し方を意識し、自分の考え方を整理し、時にエビデンスとして数字を出しながら意思決定の精度をあげるのが大切。人生は長い、自分で決める人生をつくりましょうと受講者に伝えた。



高田 朝子 氏



新垣 誠 氏

<p style="text-align: center;">参加者の声</p>	<p>(自由記載欄より抜粋)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新垣先生の講座は現在のジェンダーとダイバーシティに至るまでの状況と今後の課題について理解できました。ジェンダー平等は人権平等へと社会認識が深まれば幸いに思います。 ・講師の新垣先生の話がおもしろく、非常にわかりやすくジェンダー問題の何がポイントなのかを解説いただきました。ぜひ男性に知っていただきたいし、男性向けのリアル講演会があるといいなーと思いました。「特権」に気づき、共有する（他に与える）ことがキーになると思います。 ・ロジカルに伝えるスキルは大変学びになりました。自分を客観視することは、意識しなないとなかなかできないので、今日から実践してコミュニケーションスキルを磨いていきたいと思います。たいへん勉強になり、学びの機会を得られたことに感謝です！ ・自分の思考のクセを客観的に見つめ見直すよい機会になった。話し方のスキル~タグ付けの話が印象的で普段の生活で直ぐに実践したいと思った。講義の進め方もワークの時間があったり、休憩の指示があったりと、「学び」の臨場感が得られたこともうれしかった。 ・長い時間の講座お疲れ様でした。女性の職場と成長に関するテーマは興味があったので、チャンスがあれば、また勉強したいと思います。ありがとうございました。 ・2つの貴重な講座を受講できたことに感謝します。沖縄への想いを端々に語る高田先生をと、とても身近に感じました。今後とも講座を楽しみにしています。財団の企画にもさらなる期待をしています。ありがとうございました。
<p>主催等</p>	<p>主催：沖縄県・(公財) おきなわ女性財団</p>